

二〇二四年元日に起った能登半島地震では、建物やインフラへの甚大な被害と、ライフラインや交通の寸断、その後の広域避難が地域に大きな影響を与えました。復興においては、地域の生命力となりうる生業・産業や風景を守ろうとする新しい取り組みもみられる一方で、集落の集約も検討されており、それは災害直後の「孤立」と重なるように分布していることも指摘されています。能登半島地震後の「孤立」は新しいフェーズに入りつつあり、地域の復興や存続に影響を及ぼしていることが分かります。

今年のU30復興デザインコンペでは、昨年に引き続き「孤立する都市」をテーマに作品を募集します。能登半島のほかにも、戦争や災害で長期・短期に「孤立」を経験した地域が各地にあり、大規模な災害からの復興やその後のまちづくりで「自立」しつつある地域もあります。こうした地域のこれからを考えることも、南海トラフ地震のように将来予想される巨大災害をみこして「孤立」を考えることもかまいません。災害と「孤立」を手掛かりに、現在の復興・事前復興、ひいては都市居住、地域社会への問題提起を試みてくださいます。さまざまな分野からのアイデアを募集します。

審査委員

乾 久美子（審査委員長） 浅子 佳英 五十嵐 太郎
岡部 明子 上條 慎司 高橋 一平 羽藤 英二

コンペ課題

7月15日 17:00～ オンライン開催

乾久美子・羽藤英二の対談によるコンペ課題を実施します。詳細はU30コンペホームページを参照。

スケジュール

9月30日 応募締め切り

10月末頃 一次審査結果発表

12月7日 公開二次審査 会場：愛媛大学

※通過者への旅費を一部補助する。

応募資格

30歳以下（2025年3月末時点、ライフイベントによる活動休止期間を勘案する）の学生、社会人。個人・グループは問わない。1人につき1点までの応募とする。

提出物

ポスター2枚 PDFファイル、A3版横使い。ポスターには所属・氏名を記載しないこと。

応募方法

フォームから提出すること。フォームを利用できない場合は、応募者全員の氏名、所属、年齢、代表者のメールアドレス、作品名を明記し、メールで提出すること。

提出先：redesign.u30@gmail.com（コンペ事務局）

賞

最優秀賞1点 優秀賞2点程度

主催

復興デザイン会議

ホームページより応募フォームおよび過去のコンペの記録を参照のこと。



U30 コンペホームページ

re: 孤立する都市

U30 復興デザインコンペ二〇二五